

意識調査結果 概要

1. 調査時期

平成27年6月に実施

2. 配布と回収状況

調査票の配布にあたっては、地域、年齢を考慮して配布しました。各調査の配布数・回収の状況は以下の通りです。

区分	配布数	回収数	回収率
一般意識調査	3,000	1,272	42.4%
(うち子育て世代に関する意識調査)	1,200	375	31.3%
転入者意識調査	500	144	28.8%
若者意識調査	500	140	28.0%
市内企業調査	500	258	51.6%
合計	4,500	1,814	40.3%

3. 集計上の留意点

※単数回答の場合でも、四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合があります。

※複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100.0%を超えることがあります。

※アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表の中では要約して表記している場合があります。

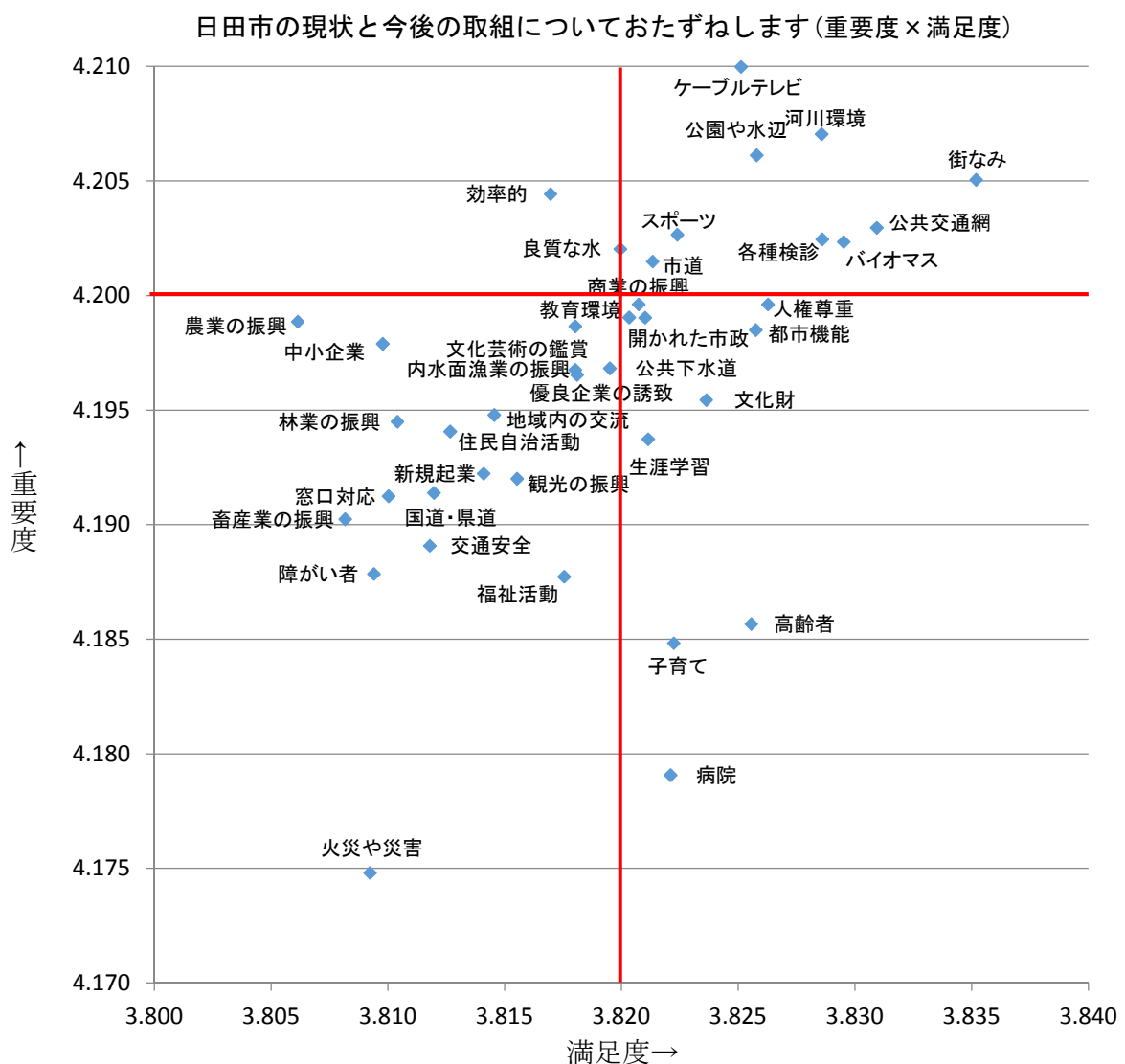
5. 調査結果

1 一般意識調査(配布数 3,000 回収数 1,272 回収率 42.4%)【再掲】

一般調査について、日田市へ愛着をお伺いしたところ「愛着がある」、「やや愛着がある」を合わせると、69.4%、日田市の住みよさについて「住みよい」、「まあ住みよい」を合わせると56.7%、今後も日田市に住み続ける予定について「ずっと住み続ける予定である」が68.2%と大部分の方が日田市に愛着を持ち、今後も住み続けることを予定しています。

一方、住み替える予定があると回答した方の理由としては「買い物など生活利便性が低いため」、「公共交通が不便なため」が多く、住む場所を選ぶ際重視することについても「買い物など日常生活が便利なこと」、「病院など医療体制が整備されていること」が多く、経済環境・教育環境より都市環境が優先されています。

日田市が、これまで取り組んできた取り組みの中で、特に重要な取組は「病院や医療体制が整っている」、「安心して子育てをすることができる環境（保育サービス・医療費助成・母子家庭自立支援等）が整っている」、「小・中学校における教育環境が整っている」などの医療・教育分野への取り組みが重要視されています。



2 子育て世代に関する意識調査(配布数 1,200 回収数 375 回収率 31.3%)【再掲】

結婚に関する意識調査について、回答者は「既婚」が 41.6%、「未婚」が 47.7%、「無回答」が 10.7%となっています。

未婚の方に、日田市が取り組むべき結婚支援事業について質問したところ「安定した雇用の確保」、「若い夫婦への住まいの提供」、「結婚祝い金などの経済的支援」などの経済的支援を必要としています。

また、結婚を望むかについて「できるだけ早く結婚したい」、「いずれ結婚したい」を合わせると 71.6%の方が結婚を望んでおり、結婚の時期について「20 代後半」、「30 代前半」が 68%を占めています。

現在のお子さんの人数について、既婚では平均 1.7 人となっており、理想の子どもの人数は平均 2.5 人となっています。

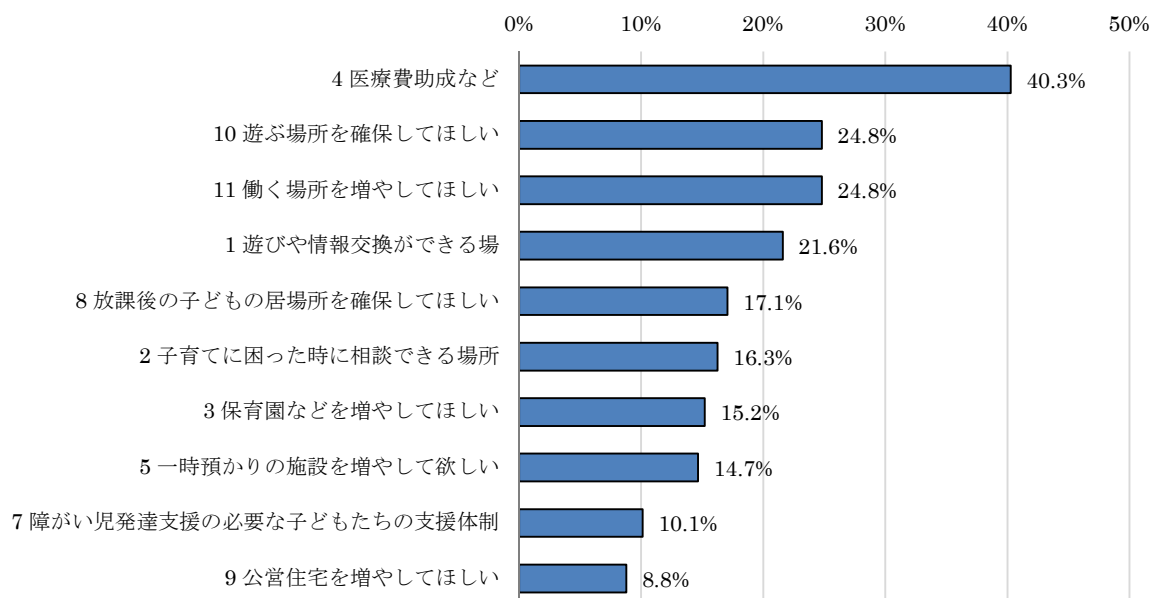
今後、充実して欲しい子育て支援策について、「医療費助成など安心して子どもが医療機関にかかれる体制を充実してほしい」が 40.3%と最も多くなっています。

一方、育児休業の取得については、全体の取得率は、30.6%となっており、男女別にみると男性の取得率は 7.3%、女性は 39.6%となっています。

育児休業を取得していない理由について「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が男女ともに最も多く、次いで男性では「収入減となり経済的に苦しくなる」、「仕事が忙しかった」が多く、女性では「職場に育児休業の制度がなかった」、「子育てや家事に専念するため退職した」が多くなっており、全体として「男性は仕事」、「女性は家庭」という慣習が見えます。

日田市で子育てをするにあたり、今後どのような子育て支援の充実を特に図ってほしいですか。

(複数回答)



3 転入者意識調査(配布数 500 回収数 144 回収率 28.8%)【再掲】

転入された方の年齢については、「30歳代」が32.6%と最も多く、次いで「40歳代」の22.9%となっており、転入の理由としては「仕事」が43.1%と最も多く、うち日田市外出身者が26.4%となっており、業種は「医療・福祉」、「製造業」が多くなっています。

日田市を住みよいまちとだと思ふかについて質問したところ、「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」を合わせると43.8%となり「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」の40.3%を上回っています。

「住みよい」または「住みにくい」理由についてどちらも「買い物などの日常生活の便利さ(不便さ)」が最も多く、意見が2分されています。

満足度・重要度からみる今後、優先して積極的な対応が求められる取組について、「効率的な行政運営」、「地域内交流」、「行政サービスの充実」、「開かれた市政」が挙げられています。

4 若者意識調査(配布数 500 回収数 140 回収率 28.0%)【再掲】

日田市出身の若者の進学先・就職先について「福岡県」が最も多く、次いで「大分県内」となっており、将来希望する職種または、現在の職種は「医療・福祉」が最も多くなっています。

就職活動の家族への相談の有無について、70.7%が相談をしており、家族からアドバイスを受けた方の50%が就職活動に影響を受けています。

日田市への愛着の有無について「愛着がある」、「やや愛着がある」を合わせると80.7%が愛着を持っているものの、現時点における地元就職希望は「希望する」、「どちらかという希望する」を合わせ30.8%となっており、「希望しない」、「どちらかという希望しない」が57.5%と大きく上回っています。希望しない理由としては「志望する企業がないから」が最も多くなっています。

地元就職・地元起業する際に希望する支援策としては「奨学金の返済減免」、「新卒者・若者採用企業への経済的補助制度」が多く、経済的支援策を必要としています。

5 市内企業調査(配布数 500 回収数 258 回収率 51.6%)【再掲】

国の地方創生による業績向上の期待について、「期待している」が48.1%と最も多くなっており、国の4つの目標のうち最も期待する目標として「地方における安定した雇用を創出する」が38.0%と最も多くなっています。

市内企業の過去1年間の経営状況について、「やや良い」が20.2%と最も多く、「非常に良い」、「良い」、「やや良い」を合わせると36.1%となっておりますが、「非常に悪い」、「悪い」、「やや悪い」が43.8%と上回っており、今後の経営状況の見通しについても厳しい状況にあります。

経営上の課題について「利益率の低下」が最も多く、次いで「人材の確保・育成」となっており、今年度の採用実績について「採用実績はない」が52.3%と最も多く、次いで「中途採用を行った」が30.6%、「新卒者を採用した」は11.6%となっています。

日田市の中小企業振興のために特に必要な対策としては「企業誘致」が34.9%と最も多くなっています。